

東京都庭園美術館では、敷地内の回遊性を高め、来館者の皆さまにより豊かな体験を提供するための取り組みを進めております。
敷地全体を巡る散策とともに、当館ならではのひとときをぜひお楽しみください。

彫刻作品の再設置

園内の整備および作品の修復のため、しばらくの間ご覧いただけなかった当館所蔵の彫刻作品2点を、このたび西洋庭園内に再設置いたしました。四季折々の風景を楽しみながら、ぜひご鑑賞ください。



菅原二郎《INSIDE OUT CBG-2》1991年

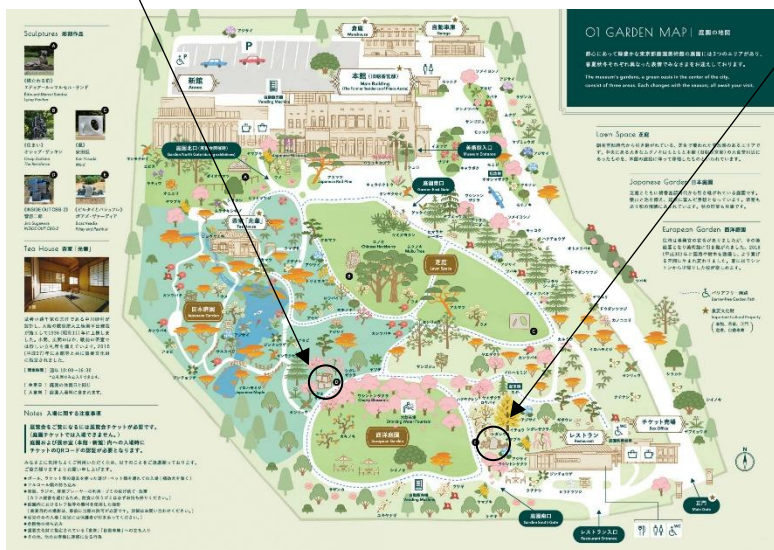
奈良県出身の彫刻家 菅原二郎（SUGAWARA Jiro, 1941-）による彫刻作品。
1988年より制作を開始した《INSIDE OUT》のシリーズは、四角形の石を割削してその内側が外部に現れたとき、どのような形態や感情が表れるかを試みた作品群である。



ボアズ・ヴァーディア《ピルタイとパシュフル》1992年

イスラエル出身の彫刻家 ボアズ・ヴァーディア（Boaz VAADIA, 1951-2017）による彫刻作品。
ニューヨークのアトリエ周辺で採取された石を素材に、一つひとつ手作業で彫り出し、層状に積み重ねることで制作されている。タイトルは『旧約聖書』に登場する人物名に由来する。

* 作品画像はいずれも上野則宏撮影



東京都庭園美術館 GARDEN MAP



東京都庭園美術館 西洋庭園 撮影：加藤新作

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

東京都庭園美術館 広報担当：中島（なかじま）、飯塚（いづか） TEL 03-3443-0201 MAIL press@teien-art-museum.ne.jp